

自民党社会保障制度調査会医療委員会
「歯科診療に関するプロジェクトチーム」
平成19年3月23日

I 歯科医療の目的と意義

II 歯科医療の現状

社団法人 日本歯科医師会

I 歯科医療の目的と意義

1. 歯科医療は生きる力を支援する
生活の医療
2. 目標
3. 生涯を通じた歯科保健医療の提供

1. 歯科医療は生きる力を支援する生活の医療と 考えます。

○ 人が人らしく生き生きと生活するためには、日々の暮らしの中で美味しく物を食べ、家族や友人と楽しく会話ができることが基本。そのことが全身の健康につながる健康長寿への道。

歯と口の健康を守ることは、すなわち国民の生活と文化を支えることである。

○ 「噛んで食べる」「咀嚼すること」による効用は、①食べ物の本来の味がわかり、おいしく味わえる、②口顎・顔面構造の発育を促進する、③唾液の分泌を促進する、④胃腸の働きを促進する、⑤栄養素の吸収を助ける、⑥肥満を抑制する、⑦脳の血流を促進する、などである。

2. 目 標

国民の歯・口腔の健康を増進し、国民が生涯にわたって
幸福な生活を送るための心身の健康に寄与する

目標達成への政策の枠組み

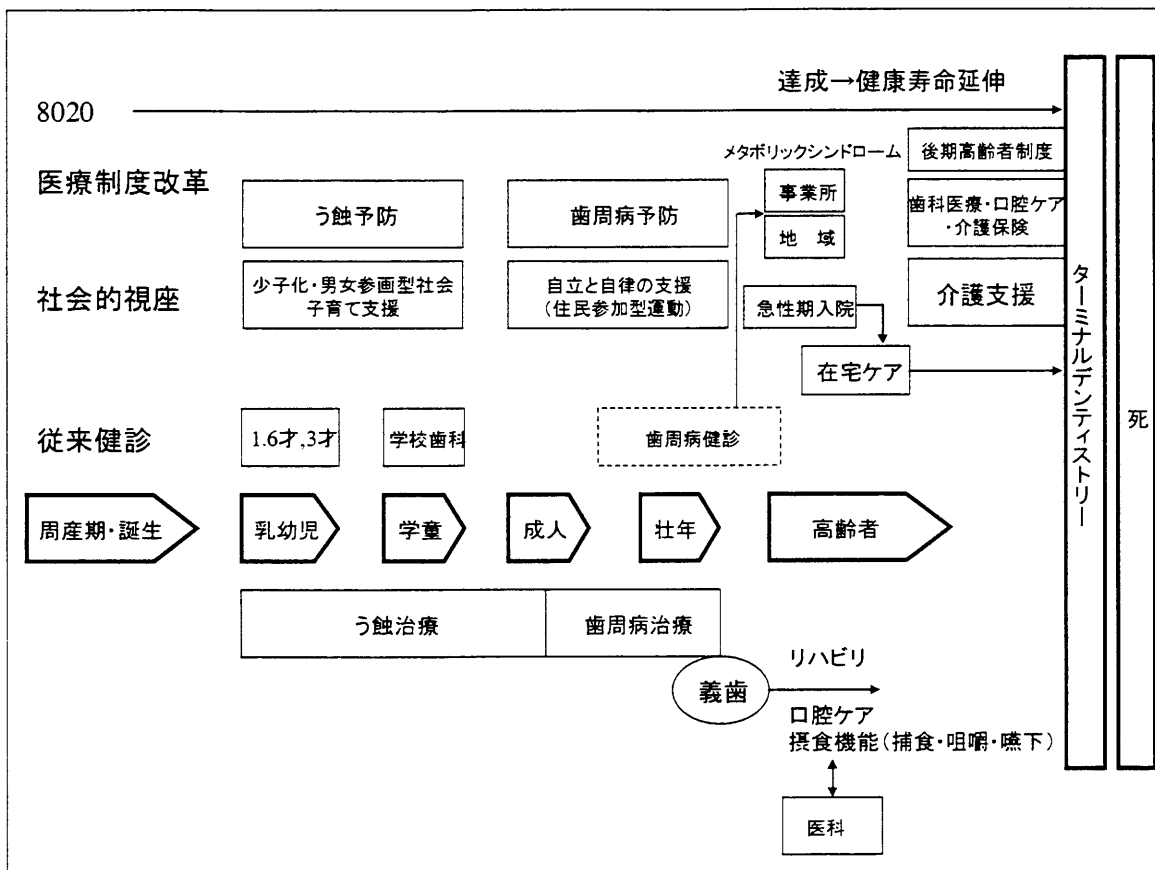
(1) ライフサイクルに応じた保健・医療・介護の法整備を軸とした
歯科保健(健診)、歯科医療連携確立のための政策策定
※高齢化社会の進展に伴う歯科における後期高齢者への対応

(2) 医療の質の向上と安心安全を守る上での診療報酬体系の
ための政策策定
※国民総医療費の中の歯科医療費を検証

(3) 社会変化(定常型社会・多死化社会)における提供体制の再
検証と新たな歯科保健・医療・介護の政策策定

(日本歯科医師会「保健・医療政策ビジョン」より)

3. 生涯を通じた歯科保健医療の提供



Ⅱ．歯科の現状

1. 10年間の歯科医師数と歯科医療費
2. 歯科疾患の特性と歯科医療の特性
3. 国民医療費と歯科医療費
4. 推計患者数の年次推移
5. 歯科診療所の収支差額の推移
6. 我が国の歯科保険料金(国際比較)
7. 医療の政策フィールドと各国特性
8. かかりつけ歯科医機能とは
9. 医療連携と歯科医療機関
10. 在宅医療(終末期ケアを含む)の連携イメージ
11. 歯科における予防・医療・介護の対象者の抽出概要と課題
12. 生涯を通じた歯科保健対策
13. 8020達成イメージ図
14. 8020運動推進特別事業
15. 平成19年度歯科保健医療対策関係予算(歯科保健課)
16. 米の黒人少年 虫歯で死亡(平成19年3月13日・産経新聞朝刊掲載)
17. 日本歯科医師会会員数(平成18年12月31日現在)

1. 10年間の歯科医師数と歯科医療費

歯科医師数については、昭和45年に当時の厚生省が「昭和60年までに人口10万対50人の歯科医師の確保が必要」との見通しに立って、歯科大学・歯学部の新設が行われ、歯科医師の養成が図られた。

その結果、昭和59年に当初の目標を上回り、現在平成16年には人口10万対74.6人であり、平成18年には歯科医師養成数の削減について、別紙の通り文部科学大臣と厚生労働大臣の確認がなされた。

一方、昭和56年度には国民医療費に占める歯科医療費は11.0%であったが、平成7年度には、8.8%となり、平成16年度は7.9%である。

ここ10年間の歯科医師数と歯科医療費の推移は以下のとおりである。

	歯科医療最近10年間の変動		10年間の増減	
	平成6年	平成16年	増減	増減率
歯科医師数(人)	81,055	95,197	14,142	17.4
人口10万対歯科医師数(人)	64.8	74.6		
国民医療費(億円)	257,908	321,111	63,203	24.5
歯科医療費(億円)	23,523	25,377	1,854	7.9
国民医療費に占める歯科医療費の割合(%)	9.1	7.9		

文部科学大臣と厚生労働大臣の確認書(平成18年8月31日)

確 認 書

下記事項を確認する。

記

歯科医師については、以下のとおり、養成数の削減等に一層取り組む。

- (1) 歯学部定員については、各大学に対して更に一層の定員減を要請する。
- (2) 歯科医師国家試験の合格基準を引き上げる。

平成18年8月31日

文部科学大臣
厚生労働大臣

2. 歯科疾患の特性と歯科診療の特性

I. 【歯科疾患の特性】

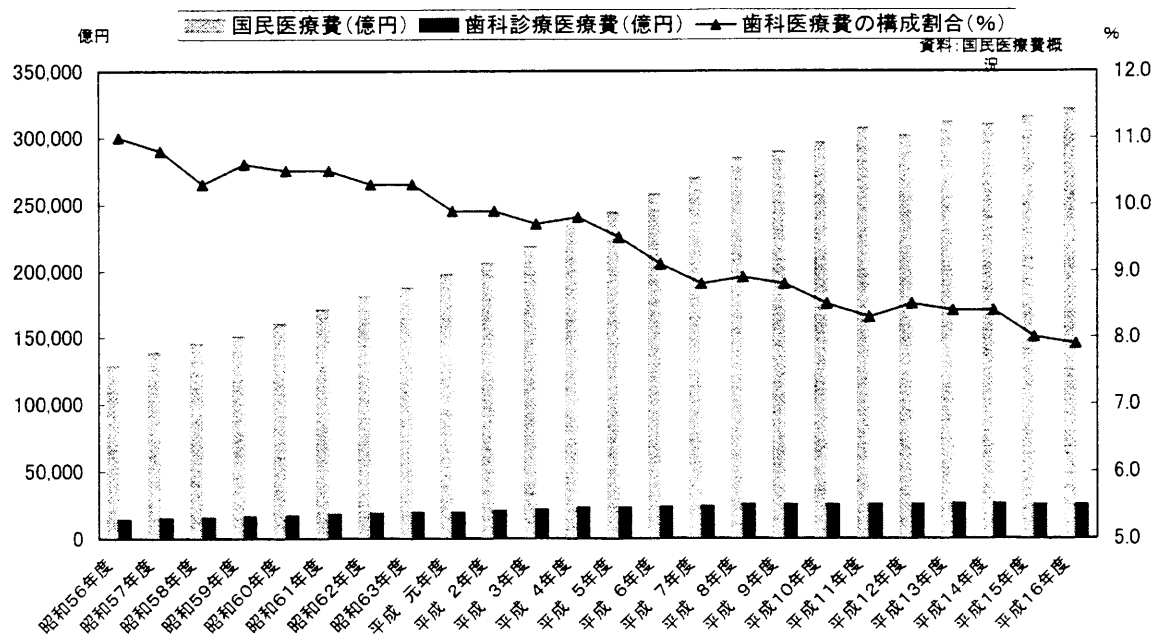
- ①多発性(国民病)
- ②不可逆性(難治性)と蓄積性
- ③予防可能性
- ④年齢特性
- ⑤疾患の個人差

II. 【歯科診療の特性(医科との差異)】

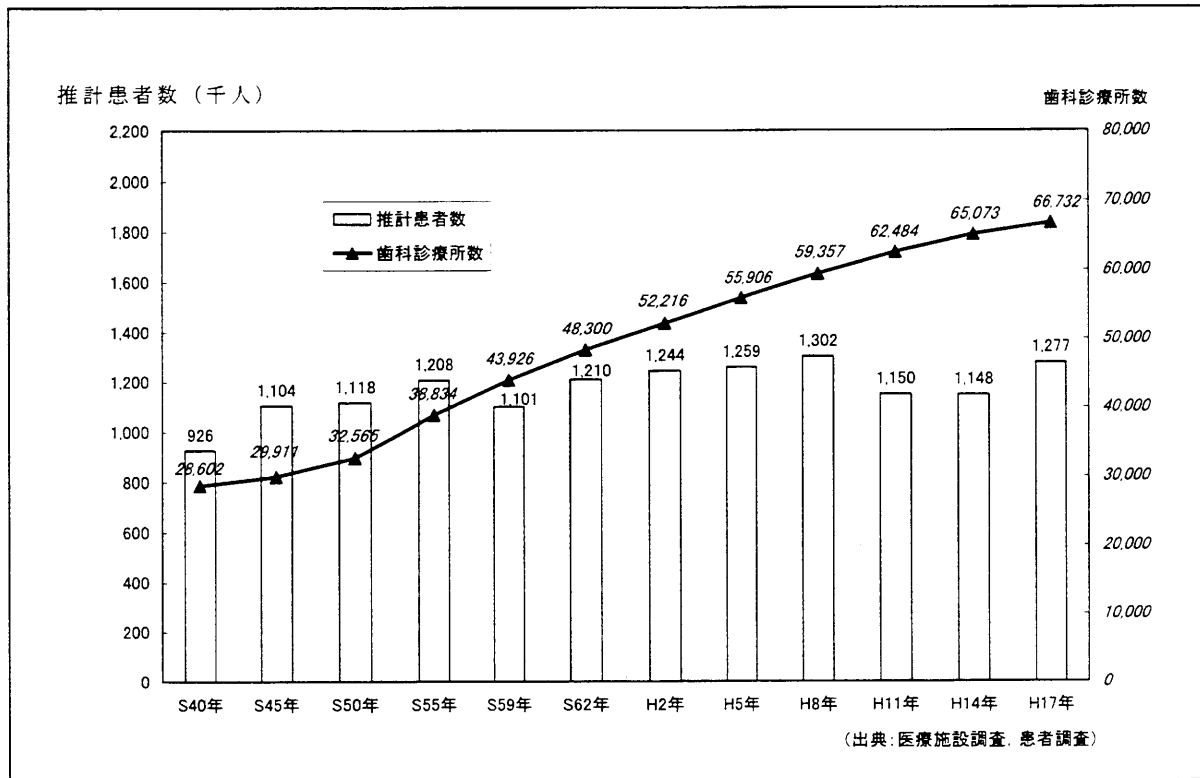
- ①診療所中心(小規模・かかりつけ歯科医機能が発揮し易い)
- ②外来中心
- ③ 多種類の歯科材料を用いて治療することが主体(保存、補綴中心)
- ④1口腔、28本の歯牙の治療内容の差を重視して発展した医療
- ⑤医薬品の使用頻度と量が小さい。
- ⑥補綴、矯正等に代表されるように機能回復に加えて審美性を考慮した診療が行われる。

3. 国民医療費と歯科医療費

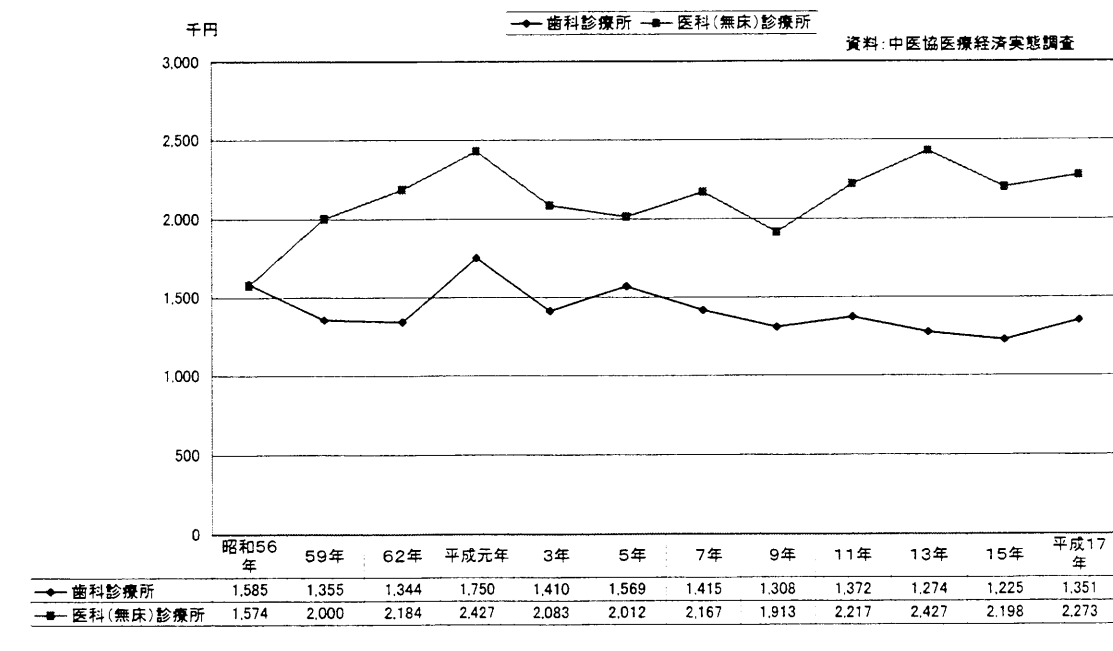
推計患者数(千人)



4. 歯科診療所数と推計患者数の年次推



5. 歯科診療所の収支差額の推移



6. 我が国の保険料金は7カ国中最も低額です！

— 歯科治療費（診療単価）の国際比較 —

(単位:円)

	日本※6	イギリス	フランス	ドイツ	スイス	アメリカ	カナダ
根管治療 ※1	5,839	92,220	43,920	14,146	36,601	108,011	52,764
歯石除去	732	13,630	3,144	1,779	4,626	12,566	6,366
アマルガム充	2,408		5,040		16,015	17,190	
複合レジン充	2,851		11,880	6,218	14,658	25,724	10,567
インレー	5,795		25,661	23,993		108,101	
再合着 ※2	774	3,698			5,700	3,863	3,417
金属冠	9,139	109,330	108,000		66,276	111,732	50,536
陶材冠	79,689		210,600		94,440	143,339	57,123
支台製造	1,707	12,180	24,840		21,168	41,138	7,703
抜歯 ※3	2,467	5,220		49,225	18,522	38,993	
麻酔	321	5,220		1,606	2,807		
エックス線標準 ※4	451		3,681	1,132	1,426	2,030	868
エックス線パノラマ	3,202	6,960	18,252	5,574		12,660	3,273
為替レート ※5	1ポンド =174円	1ユーロ=108円		1スイス・ フラン =72円	1ドル =122円	1カナダ・ ドル=79円	

※1: 抜髄、感染根管処置、根管充填を含む。

※2: インレー、クラウンの脱離再合着。

※3: 難抜歯を含む。

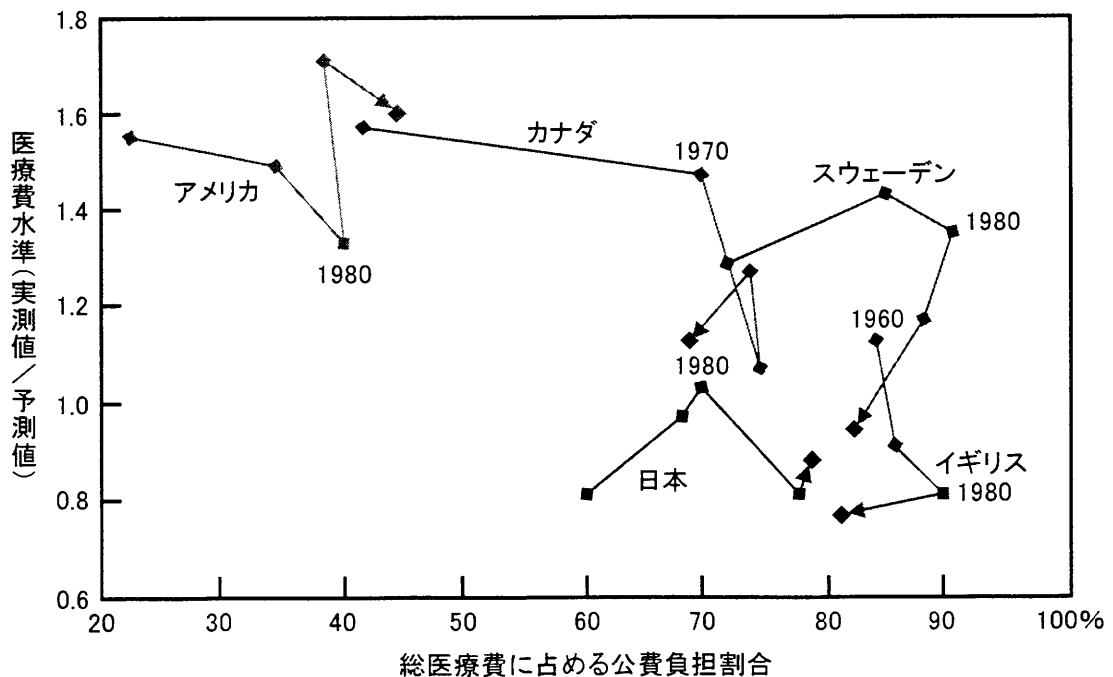
※4: 咬翼型を含む。

※5: 2002年1月1日～6月30日の間に適用される基準外国為替相場および裁定外国為替相場

※6: わが国の料金は、陶材冠は寺岡ら調べ。陶材冠以外は、厚生労働省「2000年社会医療診療行為別調査」を基に、各治療に関連する診療行為を集計した加重平均値である。

原典:「歯科医療再生の戦略—医療経済学からの提言」(川淵孝一著 医学情報社)

7. 医療の政策フィールドと各国特性



権文善—「医療年金問題の考え方 -再分配政策の政治経済学Ⅲ-」(慶應義塾大学出版会)より